

あかりマップ bot : ユーザのつぶやきに即した 日常的な防災情報提供システム

和歌山大学 システム工学部 榎田宗丈, 吉野 孝, 江種伸之



1 研究の目的

背景

- 大災害が発生すると思っている人は多いが、災害の備えをしている人は少ない
 - ▶ 時間がない、機会がない、情報がないといった理由
- Twitterが災害発生時や防災に活用
 - ▶ 若い年代を中心に利用者が多く、日常的に活用

目的

- 防災情報をTwitterを使って提供することで、ユーザに**日常的に防災情報を閲覧するきっかけ**を提供

2 あかりマップ bot



図1. システムの概要

3 各種機能

■ ランキングの機能 (図2)

- ▶ ユーザの**移動距離**ランキング
 - ユーザの本拠地と発信した地名の距離を積算して順位付け
- ▶ **地名の発信回数**ランキング
 - 地名がTwitter上で発信された回数より順位付け

■ 行動アルバム機能 (図3)

- ▶ 地名が発信された回数に応じて**ヒートマップ**で表示
- ▶ 自分の発信した地名や場所が**誤認識を訂正**

■ 気象警報・注意報の通知機能 (図4)

- ▶ 気象庁の発表している気象警報・注意報をもとに、ユーザの本拠地に気象警報・注意報が発表された場合は、ツイートでお知らせ
- ▶ お知らせする気象警報・注意報は選択可能



図2. ランキング機能



図3. 行動アルバム機能

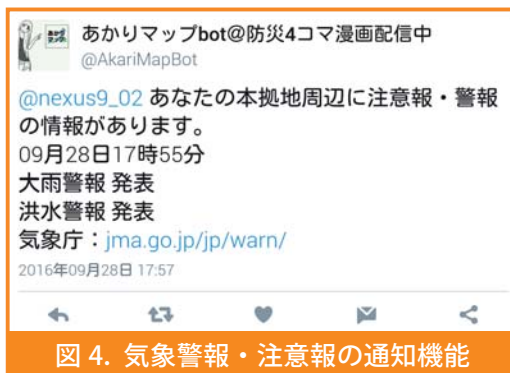


図4. 気象警報・注意報の通知機能



あかりマップ bot は「あかりマップ bot」もしくは「@AkariMapBot」で検索！
または、QRコードからもアカウントを見ることができます！ →

